

高槻病院 新生児セミナー 2022

新生児専門医を 目指すあなたに

ZOOM
ウェビナー開催
要・事前登録

2022年
5/14 ±
13:00~15:30

対象

新生児専門医取得を目指す若手医師
(新生児専門医、指導医の先生方もご参加下さい)

会費 無料

お申込方法

下記のQRコードを読み取り、
申し込みフォームに必要事項を入力
ください。



申込締切
4/30 (土)

※参加申し込み後、後日ZOOMウェビナー
のURLをお送りします

<主催・お問い合わせ先>

高槻病院 新生児事務局
tgh.shinseiji@aijinkai-group.com

TAKA General Hospital 社会医療法人愛仁会
TSUKI Hospital 高槻病院

超早産児の急性期循環管理 の考え方

超早産児の急性期循環管理では、心臓をよく動かすことではなく、IVHやPVLを防ぐことが重要です。このセミナーでは、モデルケースを用いて急性期1週間のよくある状況についてどう考えて、どう対処するのかを分かりやすく解説し、明日からの循環管理に生かせるような内容にしたいと思っています。



新生児科主任部長 池上等

超音波検査を利用した正確な 手技と合併症の予防

新生児科医は様々な処置を行います。超音波検査を用いることで正確性を高め、合併症を予防することも可能です。PI・臍静脈カテーテル・十二指腸チューブ留置などにおける超音波検査の適切な利用方法をJ Ultrasound Med 2020に報告した内容を含めて紹介します。



新生児科医長 岸上真

人工呼吸器関連肺炎の診断、 治療、予防

医師が実施するグラム染色の所見をVAPの診断、抗菌薬の選択、治療期間の判断にどう利用しているのか、J Perinat 2010に発表した内容からupdateしてお伝えします。口腔ケアにより再挿管後のVAPが減少した当院の臨床研究(Pediatr Pulmono 2021)についても紹介します。



新生児科主任部長 片山義規

在胎22週、23週出生児の管理方法

在胎22週、23週児は超早産児の中でも未熟性が強く、細やかな観察や治療が必要となります。第57回日本周産期・新生児医学会学術集会のシンポジウム(2021年7月)、第40回周産期学シンポジウム(2022年1月)で発表した内容に加えて、当院での予後や管理方法について詳しく紹介します。



新生児科医長 長坂美和子